

吉浦中学校区小中一貫教育推進協議会だより

あ

い

「あい」は eye 自分の目で何が正しいかを見抜いてほしい

「あい」は I 自分自身を大切にしてほしい

「あい」は 会い 人との出会いを大切にしてほしい

「あい」は 愛 人にも自分にも愛の心で接してほしい

令和6年1月

小中一貫教育推進にあたって

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が、5月に5類に引き下げられ、社会全体が以前の生活に戻りつつあるとともに、学校での活動も少しずつ以前の教育活動が戻ってきました。コロナ以前と同様とはいきませんが、子供たちの学びを止めないように、取組を進めていきたいと思ひます。

さて、吉浦中学校区では、「かしこく やさしく たくましく」（自利 利他 貢献）を小中一貫教育の目標として研究・研修を推進してきました。また、研究主題を「自分から進んで課題解決に取り組むことができる児童生徒の育成～「チャレンジ（選択肢と自己決定）の取組を通して～」として、小学校と中学校が連携しながら、研究・研修を進めてきました。

さらに、昨年度・本年度と呉市教育委員会から「小中につくる『未来の学び』実践事業」の指定を受け、小中一体となって研究に取り組んできました。

今求められる子供たちの力に「主体的に学ぶ力」があります。与えられた課題を、与えられた方法で解いていく力ではなく、自ら課題を見付け、解決方法を探り、さらに発展させていく力が求められています。今年度、吉浦中学校区では、子ども達が積極的に授業に参加し、主体的に学ぶために、どのような授業づくりをすればよいか、研究・研修を重ねてきました。『めあて』『チャレンジ（選択肢・自己決定）』『振り返り』の三つのかぎで主体的な学びの扉を開く」をテーマに、昨年度の実践、協議、研修を土台にさらに子供たちに力を付けるために研究を進めていきました。

そして、令和5年11月14日には、呉市内の多くの学校から教職員の皆様に参加していただき、吉浦中学校区教育研究会を開催し、これまでの実践に一端を公開することができました。

これまで、中学校区での研究に参加していただき、いつも丁寧に指導・助言をしていただいた広島県教育委員会村田主任指導主事様、呉市教育委員会河野主任指導主事様をはじめ各指導主事様に感謝申し上げます。

今後も子供たちの「学力向上」「主体的な学び」に向けて、小中学校力を合わせて、研究・研修を進めていきたいと思ひます。

吉浦小学校校長 税所 正紀



吉浦中学校区では、自分から進んで課題解決に取り組む児童生徒の育成をめざし、次のような取組をしています。

主体的な学びを促す授業づくり

今年度は、吉浦小・中の教職員が集まる授業研究会を4回行いました。

授業を参観した後は、小・中の教職員で、児童の姿をもとに授業改善について協議し、主体的に学ぶ児童生徒の育成が、より一層実現されるよう研修を深めました。



【6月16日(金):吉浦小】 【9月22日(金):吉浦中】 【10月13日(金):吉浦小】 【11月2日(木):吉浦中】

主体的な学びを支える土台づくり

学びを支える土台づくりとして、SSR(スペシャル・サポート・ルーム)、異学年交流、乗り入れ授業、ありがとうカード等の取組をしています。

異学年交流では、コロナ禍以後、数年ぶりに、小6の部活動体験、中2と小1のいもほり交流会をすることができました。

【8月25日(金):部活動体験】



【11月17日(金):いもほり交流会】

